2010年度　皮膚科　本試験

1枚目　斎藤先生＝授業プリントまま

・薬疹でⅠ型のものは（ ）型で、その検査は（ ）などがある。

・多形滲出性紅斑型薬疹の重症型は（ ）症候群で、病変は（ ）、（ ）に好発する。

・ベーチェット病の四主徴は眼症状、皮膚症状、外陰部潰瘍、（ ）

・褥瘡の治療で大切なのは（ ）、（ ）、（ ）である。

 等々…

2枚目

（１）湿疹は急性期から慢性期まで様々な皮疹が発生する。その経過を書け。

（２）湿疹・皮膚炎の疾患名を列挙せよ。

3枚目　新山先生　○×問題

×（１）せつはアトピーに合併する。

×（２）SSSSは黄色ブドウ球菌によるものであり、kobner現象を伴う。

○（３）Ⅱ型単純性疱疹は陰部にできる。

×（４）kaposi水痘様発疹は、AIDSに合併する。

×（５）AIDSの人の口腔内に発生するのは白癬である。

×（６）足白癬は第一趾に出来る。

○（７）扁平コンジローマは梅毒による

？（８）ケルズスは、頭部の深在性真菌である。

×（９）スポロトリコーシスの治療には、KOHを服用する。

○（１０）伝染性膿痂疹は黄色ブドウ球菌によるものである。

4枚目　前島先生　穴埋め問題

尋常性乾癬では角質層内の（　１　）が見られ、紅斑には白色鱗屑が（　２　）している。

鱗屑をはがすと、（　３　）現象が見られる。臨床像では表皮角層下での（　４　）浸潤が見られ、（　５　）が消失し、（　６　）の延長が見られ、真皮乳頭内の（　７　）が拡張し、（　３　）現象の原因となる。

乾癬は現在は炎症性疾患であり、（　８　）やTH1、TNF－αがその発病と維持に関与している。治療としては、ステロイドの外用、紫外線療法として（　９　）療法、NBUVB照射線療法、ビタミンA誘導体の（　１０　）の内服、シクロスポリンの内服、TNF－α抗体の投与がある。来年からは（　８　）をもっと上流から抑制するIL-12／IL-23阻害薬の保険適用が認められ、治療の選択肢の幅が広がることになった。

5枚目　前島先生　文章は復元できず。概要のみ。穴埋め

・尋常性天疱瘡と水疱性類天疱瘡と後天性表皮水疱症の抗原名。

・尋常性天疱瘡の好発部位

・尋常性天疱瘡は（ニコルスキー）現象陽性である。

・尋常性天疱瘡の水疱の性状は（弛緩）性で、水疱性類天疱瘡の性状は（緊満）性である。

・高齢者は治療に反応（しやす）い。

6枚目

悪性黒色腫を疑う臨床症状を五つ挙げよ。

7枚目　江藤先生

①SLEの皮膚症状を5つ挙げよ。

②皮膚筋炎の皮膚症状を5つ挙げよ。

8枚目　藤村先生

（過去問通り）授業で取り扱ったらい菌のTT型とLL型の表が掲載され、免疫反応の違いを踏まえて、神経障害の発生時期が異なるのはなぜか説明せよ、というような問題。